

私にも 言わせて! 第91回

感染症の水際対策を担う 「検疫」という仕事



厚生労働省福岡検疫所
検疫衛生課 課長
田中 聖子

平成7年愛知医科大学卒業。久留米大学皮膚科学講座に入局し、2年間の臨床研修を終えて久留米大学大学院に入学。免疫学講座にてがん免疫の基礎研究を行いながら、皮膚科学講座にてがんワクチンの臨床治験を担当。21年より福岡市内の皮膚科クリニックにて診療を開始。26年、厚生労働省福岡検疫所に入省し、現職に至る。日本医師会認定産業医。日本旅行医学会認定医。日本渡航医学会認定医療職。

保健所の皆さまには日頃よりお世話になっており、全国保健所長会のごことは以前より存じ上げておりましたが、まさかこのような機会をいただけるとは。それなりの年数を重ねておりますので「期待の若手」という言葉に冷や汗の出る思いですが、皆さまが普段ならあまり関わるこのない検疫所の業務についてお話しさせていただきます。

はじめに

初めまして。厚生労働省福岡検疫所検疫衛生課長を務めております田中聖子と申します。保健所の皆さまには平日より大変お世話になっております。

このご時世ですから（執筆時は3月初旬）、皆さまのご興味はあられる一点に集中しておられるであろうことを推測しつつも、今回はごく一般的な、検疫所における業務についてお話しさせていただきますと存じます。まだまだ6年目の未熟な身ではありますが、皆さまの検疫所に対するご興味に少しでも

お応えできれば幸いです。

検疫所の業務内容

検疫所と聞かれて皆さまは何を想像なさいますか。空港の出国時？それとも海外で飼っていたペットの輸入についてでしょうか？

検疫は大まかに分けて、人と動物、そして植物、食品を対象としています。このうち家畜や犬猫など動物の大部分と植物に関しては、農林水産省（動物検疫所・植物防疫所）の管轄であり、厚生労働省の検疫所は人と動物の一部に対する検疫、それに輸入食品の安全性の確保について担当しています。

平和な時の備えを心掛けて

エボラ出血熱や新型インフルエンザ等の発生時に対する訓練等も定期的に行っており、毎日それなりに刺激のある日々を送っております。……しかし、ここ2か月ほどはいささか忙し過ぎる状況であり、それは皆さまも同様であろうと存じます。

平和な時の訓練や備えこそが重要であると、つくづく思い知らさ

れました。

がん免疫の研究等を行いつつ、美容皮膚科を含めた皮膚科の臨床医として忙しい十数年を過ごし、このまま何となく実家で開業しようかとも考えていた時に、ネットで検疫所の医師募集を見つけ、何だか面白そうという軽い気持ちで転職いたしました。それが今では職場の仲間たちと共に働くことやりがいを感じています。知識も経験もまだまだ足りない

私の所属する福岡検疫所は九州全体と下関を管轄しており、博多港に所在する福岡本所と、福岡空港、門司、鹿児島、長崎の4支所、熊本空港や宮崎空港など4有人出張所、そして15無人出張所があります。

福岡本所は総務課、検疫衛生課、食品監視課、検査課からなり、検疫衛生課は博多港や佐賀空港、唐津港、伊万里港、三池港などにおける検疫・衛生業務を行っています。

海外から来航するすべての航空機や船舶から、国民の健康に重大な影響を及ぼす感染症が侵入しないよう、乗客や乗員の健康チェックをしています。もし、検疫感染症を疑う有症者を発見した場合は、問診、検査、指定医療機関への隔離等の措置を行います。

また航空機や船舶および空港、港湾周辺区域において、検疫感染

ことばかりですが、今後も国民の健康を水際で守るため、微力ながら努めてまいりたいと考えています。

日常業務でもお世話になることの多い皆さまには、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

福岡検疫所での業務を紹介



サーモグラフィーによる発熱スクリーニング



航空機の機内検疫



港湾・空港区域の媒介動物生息調査



クルーズ船の検疫



検疫感染症患者措置後の船舶内を消毒



検疫感染症患者を指定医療機関まで搬送



船舶内の衛生状態を検査(船舶衛生検査)

「期待の若手シリーズ 私にも言わせて!」は、
 全国保健所長会ホームページに
 バックナンバーが掲載されています。

全国保健所長会 月刊公衆衛生情報 で検索してください

http://www.phcd.jp/update/archive_02_j_koushusei_watashi.html